

事業報告書

(2022年4月1日から2023年3月31日まで)

I. 事業に関する事項

1. 顕彰事業

1.1 C&C賞の受賞者の選考・決定

2022年2月15日に開催された2021年度第3回審査委員会並びに同年3月9日に開催された2021年度第4回理事会において、2022年度C&C賞の募集要項及び募集から選考に至るスケジュールが審議・承認された。

これを受けて、同年4月15日に財団事務局から国内250名、海外209名の有識者宛に推薦依頼状が発送され、締切り期日の同年5月31日までに、国内外合わせて41通、39件の候補者(グループ)の推薦が得られた。これにより過去10年の累積候補者数は160件となった。

受賞者選考に当たっては、賞の意義に照らして慎重な選考を行うため第1回審査委員会の前に予備審査委員会が同年6月21日に開催され、累計160件の候補者から11件に絞り込みが行われた。続いて同年7月5日に2022年度第1回審査委員会が開催され、慎重な審議の結果、2022年度C&C賞受賞候補者として次の2グループ3名が選考された。

グループ A

松岡 聡 博士 理化学研究所 計算科学研究センター センター長
東京工業大学 特任教授

[対象業績] 省電力かつ汎用な超高性能スーパーコンピューターシステムの先導的研究開発への貢献

グループ B

チャールズ H. ベネット 博士 IBMリサーチ IBMフェロー
ジル ブラッサール 教授 モントリオール大学 コンピュータサイエンス教授
キューソフト 量子ソフトウェアチューリングチェア

[対象業績] 量子暗号の先駆的研究および量子情報理論の確立への貢献

この選考結果を受けて同年7月20日に2022年度第3回理事会が開催され、評議員臨席のもと、審査委員会原案の通り上記2グループ3名を2022年度C&C賞受賞候補者として内定した。各候補者に連絡をとり、いずれの候補者も受賞を快諾され、ここに2022年度C&C賞受賞者を正式に決定した。

1. 2 C&C賞表彰式典

2022年度C&C賞表彰式典を、2022年11月24日にANAインターコンチネンタルホテル東京において挙行了。新型コロナウイルスの感染拡大を防止するために、式典会場への出席者は招待者に限定し、一般参加者向けにはオンライン・ライブ配信した。まず贈呈式では、招待者と一般参加者計約80名の参加のもと、青山審査委員長から受賞者及び受賞理由の発表があり、次に受賞者に賞牌等が手渡された。続いて受賞者による受賞講演が開催された。その後、受賞者及び招待者による晩餐会が開催された。なお、例年受賞講演後に開催されている、式典参加者を交えたカクテルは開催を見送った。

1. 3 C&C若手優秀論文賞

本賞は当財団の国際会議論文発表者助成を受けて海外で発表された論文の中から、毎年概ね3件以内の優秀論文に対して賞金を授与するものである。今回は審査対象論文20件について、2022年9月7日から10月21日にかけて本賞のために設けられた予備審査委員会によって、独創性、秀逸さ、有効性等の観点から書面による審査が行われ、その中から10件の受賞候補論文が選考された。これら受賞候補論文の中から、同年12月6日に開催された2022年度第2回審査委員会において、2022年度C&C若手優秀論文3件が決定され、2023年1月24日に開催された研究助成会において、大和 尚記氏(北海道大学)、堀内 亮祐氏(東京大学)及び大淵 美七海氏(横浜国立大学)の3名にそれぞれ賞状及び賞金20万円が授与された。なお、C&C若手優秀論文賞の顕彰は今年度が最後となる。

2. 研究助成事業

2022年3月9日に開催された2021年度第4回理事会において2022年度事業計画及び予算が審議され、国際会議論文発表者助成及び外国人研究員助成の実施並びに研究員助成の募集と選考の実施を決定し、研究助成費予算総額を880万円とした。

2. 1 国際会議論文発表者助成

2022年度国際会議論文発表者助成は、前年までと同様に前期と後期の年2回の募集(公募)を行った。応募と助成の実績は次表の通りであった。

	前期	後期	年間計
応募	15名	37名	52名
助成	9名	13名	22名
助成額合計	185万円	234万円	419万円

2.2 外国人研究員助成

2022年度外国人研究員助成は、2021年7月から9月にかけて公募した。2021年12月7日に開催された2021年度第2回審査委員会において5名を受給者として内定した。助成期間は2022年4月から1年間(うち1名は半年間)で、助成額は1名あたり月額12万5千円、年間150万円(うち1名は半年間75万円)とし、受給者5名に対し合計675万円の助成金を支給した。なお、外国人研究員助成事業は本年度で終了し、2023年度から助成対象を拡大し、かつ助成額を月額15万円に増額する、次項の研究員助成にリニューアルされる。

応募	助成	助成額合計
11名	5名	675万円

2.3 研究員助成

2023年度から助成開始する研究員助成は、2022年7月から9月にかけて公募した。2022年12月6日に開催された、2022年度第2回審査委員会において、研究員助成受給予定者を選考し、最終的に5名を選定した。

2.4 研究助成会の開催

2023年1月24日にC&C若手優秀論文賞受賞者、今年度外国人研究員助成受給者及び来年度研究員助成の受給予定者を対象に、次表のとおりオンラインで研究助成会を開催した。

開催方式	対象者	出席者数
Web会議	2022年度C&C若手優秀論文賞受賞者、2022年度外国人研究員助成受給者、2023年度研究員助成受給予定者	12名

II. 総務に関する事項

1. 理事会・評議員会

2022年度中に次の理事会及び評議員会が、決議の省略やオンラインで、あるいは東京都港区白金台五丁目7番16号日本電気泉華荘会議室において対面やオンラインとのハイブリッドで開催され、各議案が審議・承認された。

(1) 2022年度第1回理事会 (2022年5月11日 決議の省略)

第1号議案 2021年度(2021年4月1日～2022年3月31日)の事業報告書及び財務諸表の審議、承認の件

第2号議案 2022年度定時評議員会の第2号議題の議案の件

(2) 2022年度定時評議員会 (2022年5月31日 オンライン開催)

第1号議案 2021年度(2021年4月1日～2022年3月31日)

- 事業報告書及び財務諸表承認の件
- 第2号議案 評議員、理事及び監事選任の件
- 第3号議案 常勤理事の報酬の件
- (3) 2022年度第2回理事会（同上）
- 第1号議案 代表理事選出の件
- 第2号議案 業務執行理事選出の件
- 第3号議案 事務局長委嘱同意の件
- 第4号議案 審査委員選任の件
- 第5号議案 研究員助成規程改定の件
- (4) 2022年度第3回理事会（2022年7月20日 泉華荘会議室とオンラインとのハイブリッド開催）
- 第1号議案 2022年度C&C賞受賞者審議・決定の件
- 報告事項 1) 理事長及び専務理事の職務状況報告
- 2) 基本財産の運用状況について
- (5) 2022年度第4回理事会（2023年3月8日 泉華荘会議室）
- 第1号議案 2023年度事業計画案審議の件
- 第2号議案 2023年度収支予算案審議の件
- 第3号議案 2023年度定時評議員会招集の件
- 第4号議案 国際会議論文発表者助成規程改正の件
- 第5号議案 研究員助成規程改正の件
- 第6号議案 審査委員会規程改正の件
- 第7号議案 経理規程改正の件
- 第8号議案 規程廃止の件
- 報告事項 1) 理事長及び専務理事の職務状況報告
- 2) 基本財産の運用状況について
- 3) 2023年度第1回理事会の開催形式(決議の省略)について

2. 2022年度事業日誌

－各理事会、評議員会の議題は上記「Ⅱ-1項」に記載

2022年

- 5月11日 第1回理事会（決議の省略）
- 5月31日 定時評議員会及び第2回理事会開催
- 6月21日 予備審査委員会開催
- － 2022年度C&C賞受賞候補者の予備審査
- 7月5日 第1回審査委員会開催
- － 2022年度C&C賞受賞候補者の選考
- 7月20日 第3回理事会開催

11月24日 2022年度C&C賞表彰式典挙行

12月6日 第2回審査委員会開催

- － 2022年度C&C若手優秀論文賞受賞者選考
- － 2023年度研究員助成受給者選考

2023年

1月24日 C&C若手優秀論文賞受賞者、外国人研究員助成受給者及び来年度研究員助成受給予定者を対象とした研究助成会開催

2月14日 第3回審査委員会開催

- － 2023年度会議開催予定日について
- － 2023年度顕彰事業について
- － 2023年度研究助成事業について

3月8日 第4回理事会開催

この間、2022年9月及び2023年3月に国際会議論文発表者助成の書類審査が審査委員によって行われた。

以上

事業報告書附属明細書

(2022年4月1日から2023年3月31日まで)

詳細については、事業報告書の本文内で説明済みであるので内容の記載を省略する。

以上